



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月10日

上場取引所 名

上場会社名 中部水産株式会社

コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀 健雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 鈴木 祥司

TEL 052-683-3110

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,194	△0.6	31	—	82	148.5	56	—
23年3月期第1四半期	10,252	△5.1	△21	—	33	△38.8	△23	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3.03	—
23年3月期第1四半期	△1.25	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	14,666	11,958	81.5
23年3月期	14,288	11,966	83.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 11,958百万円 23年3月期 11,966百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,200	△2.0	△20	—	50	△21.0	30	—	1.61
通期	42,200	△1.0	50	24.5	180	1.8	100	—	5.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	21,269,000 株	23年3月期	21,269,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	2,667,919 株	23年3月期	2,667,919 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	18,601,081 株	23年3月期1Q	18,603,686 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]2ページ「1.(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の甚大な被害と混乱の影響から経済環境は悪化し、原発事故に伴う電力供給不足の懸念や為替相場の急激な変動等もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、消費に対する自粛ムードの拡がりや節約意識の浸透により個人消費は低迷し、市場内外での販売競争が一層激しさを増すなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

この結果、売上高は飼料工場など工場部門が伸長しましたが、卸売部門が取扱数量の減少により減収となったため、10,194百万円(前年同四半期比0.6%減)となりました。利益面については、売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減により、56百万円の四半期純利益(前年同四半期は四半期純損失23百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

冷凍魚が冷アカウオ、冷サバなどの取扱増と冷チリ銀サケ、冷トラウトや冷ムキエビなどの原料販売の増加により売上増となりましたが、鮮魚が生キハダ、うなぎなどの魚価高による売上増はあるものの、ホタテ貝柱、サケ、カレイなどの入荷減により減収となり、塩干魚が時サケの不漁、小女子、塩サバなどの入荷減に加え、純煉製品の消費不振などにより売上減となり、卸売部門全体として売上高は9,595百万円(前年同四半期比1.2%減)、営業利益は100百万円(同10.8%減)となりました。

(飼料工場部門)

水産向魚粉が委託生産の増加などにより売上増となり、養鰻用飼料が新規販売先の開拓と高騰した原料の製品価格への転嫁などにより増収となり、売上高は342百万円(前年同四半期比14.8%増)、営業利益は24百万円(同7.6%増)となりました。

(食品加工部門)

いか製品のポット商品がディスカウントストアやドラッグストアへの拡販により売上増となり、製品の値上げも奏功し、売上高は121百万円(前年同四半期比13.3%増)、営業損失は6百万円(前年同四半期は営業損失16百万円)となりました。

(冷蔵工場部門)

青果の順調な入庫と寄託者の在庫分散の動向もあり、在庫量は高水準となり、売上高は106百万円(前年同四半期比5.3%増)、営業利益は10百万円(前年同四半期は営業損失1百万円)となりました。

(不動産賃貸部門)

売上高は、28百万円(前年同四半期比1.5%減)、営業利益は14百万円(同4.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、14,666百万円となり、前事業年度末に比べ377百万円(2.6%)増加しました。これは主に、現金及び預金の増加213百万円、商品及び製品の増加84百万円、原材料及び貯蔵品の増加73百万円などによるものであります。

負債は、2,707百万円となり、前事業年度末に比べ385百万円(16.6%)増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加306百万円などによるものであります。

純資産は、11,958百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円(0.1%)減少しました。これは、その他有価証券評価差額金の増加10百万円がありましたが、利益剰余金の減少17百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成23年5月12日発表の業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,518,067	3,731,502
受取手形及び売掛金	1,883,905	1,924,906
有価証券	2,900,000	2,900,000
商品及び製品	638,034	722,442
仕掛品	19,648	46,599
原材料及び貯蔵品	295,070	368,979
その他	156,018	121,396
貸倒引当金	△9,742	△9,956
流動資産合計	9,401,002	9,805,870
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,329,772	1,304,201
その他(純額)	810,364	802,014
有形固定資産合計	2,140,136	2,106,216
無形固定資産		
114,688		106,333
投資その他の資産		
投資有価証券	1,855,246	1,866,176
その他	805,717	809,580
貸倒引当金	△28,163	△27,813
投資その他の資産合計	2,632,801	2,647,943
固定資産合計	4,887,627	4,860,492
資産合計	14,288,630	14,666,363
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,251,697	1,558,266
受託販売未払金	106,141	113,643
未払法人税等	6,206	3,995
賞与引当金	61,000	20,900
その他	174,851	282,361
流動負債合計	1,599,896	1,979,166
固定負債		
退職給付引当金	563,663	571,373
その他	159,066	157,158
固定負債合計	722,730	728,532
負債合計	2,322,627	2,707,698

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,342,597	1,342,597
利益剰余金	10,930,836	10,912,873
自己株式	△1,287,793	△1,287,793
株主資本合計	12,435,640	12,417,678
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△469,637	△459,013
評価・換算差額等合計	△469,637	△459,013
純資産合計	11,966,002	11,958,665
負債純資産合計	14,288,630	14,666,363

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	10,252,425	10,194,751
売上原価	9,753,376	9,686,538
売上総利益	499,048	508,213
販売費及び一般管理費	520,193	477,047
営業利益又は営業損失(△)	△21,145	31,165
営業外収益		
受取利息	4,106	3,664
受取配当金	34,881	34,324
その他	15,390	13,437
営業外収益合計	54,378	51,426
経常利益	33,233	82,592
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,891	—
特別利益合計	1,891	—
特別損失		
固定資産処分損	30	15
投資有価証券評価損	85,067	—
特別損失合計	85,097	15
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△49,972	82,577
法人税、住民税及び事業税	1,049	995
法人税等調整額	△27,755	25,140
法人税等合計	△26,706	26,135
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,266	56,441

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,716,210	298,575	107,204	101,116	29,318	10,252,425	—	10,252,425
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,740	—	3,186	23,228	—	31,154	△31,154	—
計	9,720,950	298,575	110,390	124,345	29,318	10,283,580	△31,154	10,252,425
セグメント利益 又は損失(△)	112,677	22,403	△16,861	△1,016	14,182	131,385	△152,531	△21,145

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△152,531千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,595,183	342,777	121,456	106,458	28,875	10,194,751	—	10,194,751
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,422	—	1,248	23,303	—	28,973	△28,973	—
計	9,599,606	342,777	122,704	129,761	28,875	10,223,724	△28,973	10,194,751
セグメント利益 又は損失(△)	100,541	24,105	△6,897	10,158	14,749	142,656	△111,490	31,165

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△111,490千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。